

この半島に映る、日本の色

日本には古来より千百種類以上の和色（わいろ）があります。それは日本の四季が育てた日本人の持つ「自然観」の賜です。決して豊かではなかった昔の人々は日々色を変える自然から心の警沢を受け取っていたのだろう。長崎県川棚町・大崎半島で暮らす人の目に映る色を通じて、過去から現代へそして未来へ、この感性を伝承してゆこう。人生を豊かにする鍵がここで見つかるかもしれません。

はじめまして。
ぼくは大崎を歩きまわっているヤギの案内人。
この半島の色や風景、暮らしをいっしょに
探しにいこう。



案内人

瑠璃の海

どんぐりの森

干潟

いきもの図鑑

遊歩道

大崎の歴史

大崎の暮らし

夕陽と共に

宿

食

海水盆の如く瑠璃碧なり



「海水盆の如く瑠璃碧なり」江戸時代の代表的な漢詩人でもある頼山陽（1780-1832）が旅の途中で大村湾の美しさを詠んだ句で「瑠璃色」という言葉はこの地域で昔から親しまれています。

この海の色はどこから来ていると思いますか？大地に降る雨は何十年もかけて土壌を通り海底湧水として海

へ送り出されます。大村湾を囲む陸地の多くの命が海に関わっているのです。それは閉鎖的海域の大村湾だからこそ作られる独特の深い瑠璃色なのです。私たちが海の色を美しいと思うとき、それは大地を讃えることにもなるのです。そう思うと、自然界が作り出す「色」の奥深さをあらためて考えさせれます。



海辺のテラス BBQ



屋根付きの海辺テラスで、目の前に広がる海を眺めながら、開放的な BBQ タイムを。屋根付きなので炎天下や雨天でも安心して楽しめる。大型 BBQ コンロを設置しており、手軽に利用可能。

【期間】9月～6月

【料金】1区画（10名まで）5,500円/4時間

※追加人数・オプションあり

環境保護を考え行動する日 世界アースデイ

4月22日の世界アースデイにあわせて開催される、環境を考えるイベント。美しい大村湾を望む大崎半島で、マイ食器を持参し“ゴミゼロ”を目指す2日間。物販やワークショップなど、自然とのつながりを楽しく体感できる。



川棚 大崎海水浴場



「大村湾でいちばんキレイな海水浴場」の定評に恥じない澄んだ水と、波静かなたたずまいが自慢。フェニックスやシュロの木々がコロニアル&エスニックなムードをかもしだす。長崎県内でも人気の海水浴場スポット。
シーズン：毎年7～8月

瑠璃の海

Regenerate ～再生～

水の循環を学ぶ

海底湧水で塩づくり体験



いまある施設や資源を最大限活用し、海を拠点に様々な環境負荷をかけない過ごし方をご提案。お客様のご利用が地域の再生につながります。

大崎半島で湧き出す「海底湧水」を採集し、昔ながらの方法で塩づくりを体験。海底湧水とは、地下にしみ込んだ雨水が長い年月をかけて海底から湧き出す水のこと。栄養塩を多く含み、近年注目されている。浅瀬に簡単な汲み取り装置を設置し、湧き出す水を採集。煮出しの待ち時間は個室でゆったりと。お茶を飲みながら、火の温もりやコトコトと煮立つ音を感じつつ、木ベラでかき混ぜるひとときも楽しみのひとつ。自分で炊いた塩は格別。お花やハーブを混ぜたアレンジもおすすめ。

【内容】

- ・海底湧水採集
- ・塩づくり体験

◎塩のお持ち帰り付き

◎ドリンク付き

◎道具一式貸出

料金：3,800円/人（子ども2名まで無料）

最少催行人数：2名

※膝下まで海に入ります。濡れてもよい服装・着替えをご持参ください。



各コンテンツの詳細・お申込は
公式 HP「瑠璃の水辺」を
チェックしてね



塩おにぎり
*オプション

中ちゃん博士と 大崎半島の植物観察会

大崎半島では、希少な食虫植物『コモウセンゴケ』をはじめ、豊かな森に生息するこの地ならではの多様な植物生態系をみることができる。経験・知識豊富な中ちゃん博士が見どころを詳しく解説。四季折々の植物の営みを垣間見ることができる。初心者から愛好家まで、自然の神秘を一緒に発見しよう！



食虫植物「コモウセンゴケ」

中ちゃん博士と 干潟の生きもの観察会

大崎海水浴場の道向かいの海は、潮の満ち引きが生み出す神秘の世界“干潟”の顔を持つ。カニやヤドカリ、貝類など多彩な生き物が暮らすことから、『うじゃうじゃ干潟』と呼ばれている。中ちゃん博士のガイドとともに、生き物の目線でその生態系を探る。潮が引いた砂地に残る足跡や巣穴が、彼らの暮らしを物語る。



詳細・お申込はコチラ
公式HP「瑠璃の水辺」



動物・植物専門アドバイザー
中ちゃん博士

この干潟は砂泥干潟や砂干潟、礫干潟、岩場と4つの環境がある大変貴重な自然環境です。自然観察会ではいつも新しい発見がありワクワクします。カブトガニやイボウミナナなど採集禁止の種もあるのでルールを守って観察してくださいね。

生きものの宝庫 大崎の干潟



潮の満ち引きで陸域と水域が入れ替わる場所。それはエコトーンと言われ自然界で大きな役割を持っています。近年減ってきている自然の干潟。一般的に美しい色をした海や森ばかりが注目を浴びますが、実は干潟こそが生物多様性の鍵を握る生命の宝庫なのです。水辺の生きものを想像すると小さな命も輝いて見えます。





料金
 指導料 + 体験料 お一人様 1,000 円
 10:00 ~ 12:00
 ボールレンタル 300 円
 ※ 5 名以上のご参加から承ります。
 ※ ご希望日をご連絡いただければ、指導士
 の調整ができ次第ご対応いたします。



◀ 動画でご紹介
 youtube



詳細・お申込はコチラ
 公式 HP「瑠璃の水辺」



ノルディック
 ウォーキング

森と海の遊歩道

ようこそ
 森の日常へ



大崎の暮らし

大崎半島の朝は季節毎に変わる自然の色と鳥の声に包まれて住民の一日がはじまります。

朝起きて一番最初に見える風景はなんですか？



暮らしをのぞいてみよう！

海辺のさわやか 朝じかん

6:00

達富さん、ワンコと朝散歩
歩き方のプロは大崎の海岸線を愛犬と散歩するのが日課。



6:30

浏江さん、漁へ出発！
三越港から漁にでます。春先・夏・秋には『渡り蟹』、真冬には、特産品の『なまこ』が獲れます。



7:00

野中さん、卵を探す
鶏舎の中を見回って、産み落とされた卵を集めます。



8:00

前平さん、ヤギ・猫さんの朝ごはん
ヤギさん・猫さんに朝ごはんをあげます。ヤギさんの餌はヤギ友、野中さんに野菜クズをいただいています。

8:30

前平さん、リモートワーク開始
パソコンを開けばどこでも職場に。海外の方とリモート会議。



9:00

永谷さん、わんことご出勤
看板犬のノアちゃん、クリスちゃんと開店準備。



10:00

篠原さん、草木のお手入れ
くじゃく園をはじめ町内外で季節に合わせた植物のお手入れ



新鮮なお魚を配達してくれる昔ながらの魚屋さん。近所の方がお財布を持って集まってきます。



採れたての『野中の卵』を味わう。日々の贅沢。

大崎半島に 暮らす人々

大崎半島には、半島開拓当時から代々暮らす人々と、豊かな自然に惹かれて移住した方が、ほぼ半数ずつの割合で暮らしています。動物たちものびのびと一緒に暮らしているのもいいところ。

浏江 夫婦



永谷 桃香



達富 富美



町の保健室ハイジと薬箱『店主。『足みますね』をキャッチフレーズに、歩き方の指導をはじめ、食育など生活に寄り添いながら健康をサポート。

前平 隆行



前平 泉



野中 貴宏



前職の技術とセンスを活かし店づくりや発信にデザインを取り入れ、養鶏場を新世代に繋ぐ3代目。前平さんとはヤギ友だち。

篠原 康洋



間もなく90歳を迎えるお父さんと少し年下のお母さん。夏は3時過ぎ、冬は4時すぎ、太陽よりも早起きして三越の港から漁にでる。朝食はゆっくりしっかりとるのが元気の秘訣。

ホテルでの修行を経て、店長としてカフェを切り盛りする若きシェフ。動物保護活動に取り組み母の影響で、動物にも優しいお店を目指している。

大崎半島に魅了され、夫婦で移住。『毎日が旅をしているようだ』と非日常の暮らしを楽しんでいる。大崎の自然を守り、発信するために日々奔走中。

大崎の山を見守る3代目庭師。元警察官の凛々しい見た目は裏腹、植物や可愛らしいものづくりが好きなギャップも◎。